



# ほほえみ

R5.2.7  
福井市啓蒙小学校  
保健室

2月は、暦の上では「立春」を迎え、春が始まる月とされています。「春」という言葉には、何となく心弾む響きがありますね。みなさんも身近なところに春の気配を探してみてください。新型コロナウイルスと共に、3年ぶりにインフルエンザが流行しています。元気に過ごすために、しっかりと感染予防に努めていただきたいと思います。

## インフルエンザの出席停止期間について

発症後5日を経過 + 解熱後2日を経過するまでは、  
学校はお休みになります。ゆっくり静養してください。

例	発症日 0日目	発症後 1日目	発症後 2日目	発症後 3日目	発症後 4日目	発症後 5日目	発症後 6日目	発症後 7日目
発症後2日目に 解熱した場合				解熱後 1日目	解熱後 2日目	※まだ発症後5日 を経過していない ため登校できない		
出席停止期間	→							
発症後4日目に 解熱した場合						解熱後 1日目	解熱後 2日目	
出席停止期間	→							

### 2月の保健目標 「心の健康について考えよう」

友だちの心を傷つけて  
いませんか？

自分では「軽い気持ち」で  
言ったことでも取り返しのつ  
かないほど友達を傷つけてし  
まうことがあります。相手の  
ことを思いやる気持ちをもて  
るといいですね。

自分がやられたら  
どう思う!?  
まずはそこから  
考えてみて!!

“ことば”ひとつで  
友だちを傷つけることも  
助けることもできる!

傷つけたほうはすぐに忘れても  
傷つけられたほうは  
一生忘れない!

悪口を言うことで  
仲よくなった人とは  
本当の友だちでは  
ないと思う!

### 言葉は人の心を、人生を変える！！

人が言葉を話せるようになって何万年がたったのでしょうか。うれしいとき「よかったね」って一緒に喜んでくれる人がいたら、喜びは倍になり、悲しいときに「大変だね」って言ってもらえたら、悲しみは半分・・・。つらいとき、悲しいときに、暴言を耳にすると、心がしずんで暗くなり、温かい言葉をかけてもらうと、救われた気持ちに、ホコホコした気持ちになります。温かい言葉を使い上手にコミュニケーションをとってほしいものです。



## ～いのちの学習～ 「心・体・命は大切」

### 「大きくなった自分を感じよう」（2年生）

2年生の生活科「あしたへジャンプ」では、入学した頃から今までの2年間の自分の生活や成長を振り返る活動があります。

そこで、赤ちゃんの頃までさかのぼり、できるようになったことがたくさんあることを気付いてもらえたらと考え、赤ちゃんのお世話体験を授業で行いました。お家の人にしてもらったことを体験する活動をしました。①だっこ、②おちち（ミルク）、③きがえ、④おむつ、⑤おふろの5つのことを赤ちゃん人形（3kg）で体験してみました。



初めはぎこちない手つきだった子供たちも、少しずつ慣れていき、「大きくなってね」「気持ちがいいね」「ママだよ～」と優しい声かけをすることができていました。

また、「3kgって重い」「ずっとだっこはきつい」「毎日こんなことをしてくれていたんだな」「お母さんやお父さん、頑張ってくれていたんだな」「ありがとうと思った」など、赤ちゃんの重みを感じつつ、お家の人の苦労や頑張りに対して、感謝の気持ちを一人一人が強く感じていました。大切に育ててもらったいのちをこれからも大事にしながら、のびのびと成長してほしいです。



赤ちゃんのお世話がこんなに大変なんがと思いました。一日におむつを8~10回くらいかえないといけないことにはじめてしました。毎日お母さんはこんな大変なことをしなさいいけないからと、お叱りを受けた。わたしが生まれてから今までずっとお世話してくれていたの。ありがとうとお父さんとお母さんに感謝の気持ちをお伝えしたいです。

赤ちゃんのお世話たいげんをして感じたことは、赤ちゃんがとてもおもしろいです。それと、だっこをするのがとても楽しかったです。あと、やはりオムツがえがおもしろいです。お母さんとお父さんはこんなにたいげんをしてくれて、かんしゃしたいと思いました。それと、大人になって、いっぱいよいようにいまからいしょうをしようと思いました。

これからも、子供たちと「心・体・命」について一緒に考えていきたいです。